

(別紙3)

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスありがた家		
○保護者評価実施期間	R7年 12月10日 ～ R7年 12月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R7年 11月28日 ～ R7年 12月13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな年代のいろんな大人と一緒に過ごしているため、多様な価値観や考え方に触れることができる。偏見のない心や多様性を理解し受け入れる心を育むことができる。豊かな感性が育まれる。	子どもだけで活動する時間もあるが、年代の違う人や障がいや認知症のある人とも一緒に活動できるように、職員が間を取り持っている。	言葉での意思の疎通が難しい利用者さんもおられるので、一緒に活動することで、言葉以外でのコミュニケーション能力が高まる。職員の援助を最小限にすることで、さらに柔軟な心が育ち、子どもが他の利用者を自然に手伝うことで自分の役割を果たし、自己肯定感が育まれる。
2	隣に堤防の散歩コースや公園がある・敷地内に畑や花がある・施設が大通りに面していない・駅から近く学生ボランティアが通しやすい等、施設の立地条件が良い。	天候や人員に合わせて、散歩や公園での活動を行っている。畑の野菜収穫体験等も行っている。長期休暇時等にボランティアの受け入れをしている。	季節ごとに自然を感じられるように、今後も屋外活動を行う。
3	当日のプログラム内容は子どもが自分で選んで決めている。自主性や主体性・創造性が育まれるとともに、体調や本人の精神状態に合わせて柔軟に活動できる。	本人が決められないときは、本人の興味やニーズに合わせていくつかの活動を提案したり、相談に乗ったりしている。	さらに多様な経験をできるよう、音楽やスポーツをはじめとする様々な活動をご提案し、選択肢を広げていく。文化芸術に触れたり、地域との交流を楽しんだりすることで、日々の生活がさらに豊かになることを目指す。
	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

1	時間帯によっては十分に関われない事がある。 (時間帯によっては人手不足気味)	送迎が重なった時間は、人手不足になる事がある。	職員を募集中・送迎のみの職員も募集している。
2			
3			